



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社日本ケアサプライ

コード番号 2393 URL <http://www.caresupply.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 金子 博臣

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長

(氏名) 小磯 隆久

TEL 03-5733-0381

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	4,425	2.6	452	△1.5	511	1.9	264	12.5
23年3月期第2四半期	4,312	4.2	459	△5.8	502	△10.8	234	△16.8

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 271百万円 (14.4%) 23年3月期第2四半期 237百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	1,491.24	1,490.89
23年3月期第2四半期	1,325.09	1,324.72

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	12,027	9,815	80.9
23年3月期	12,021	9,844	81.2

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 9,729百万円 23年3月期 9,766百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	1,700.00	1,700.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1,500.00	1,500.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,700	0.8	990	△12.5	1,060	△12.9	510	△11.6	2,876.09

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) ー、除外 一社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	180,372 株	23年3月期	180,368 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,044 株	23年3月期	3,044 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	177,327 株	23年3月期2Q	177,324 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中でありませぬ。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料 P. 3「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響による厳しい状況からのサプライチェーンの立て直しや各種の政策効果などを背景に、緩やかながら景気の持ち直し傾向が見られるものの、世界経済の減速懸念や急激な円高の影響など景気の下振れリスクが現れており、先行き不透明感が高まっております。

介護業界におきましては、平成24年に介護保険制度の改正を控え、本年6月に改正介護保険法が成立しました。改正の内容には、医療・介護・予防・住まい・生活支援サービスを切れ目なく、有機的かつ一体的に提供する「地域包括ケアシステム」の実現を目指し、医療と介護の連携の強化、人材の確保とサービスの質の向上などが盛り込まれております。

こうしたなか、当社グループは、主力の福祉用具サプライ事業及び在宅介護サービス事業による高齢者ケア事業への取組みを進め、さらなる成長を目指してまいりました。

当社が中心に事業展開する福祉用具サプライ事業につきましては、利用者のニーズを的確にとらえ、メーカーとの連携を図りながら、ベッドや車いす等を含むレンタル商品の買い換えを積極的に進め、商品ラインナップの拡充を図ってまいりました。また、将来、高齢者人口が更に増加すると見込まれる首都圏におきましては、第1四半期の営業力結集を目的とした管轄ブロック再編に続き、指定居宅サービス事業者（以下、事業者）の後方支援、連携・協働の基盤となる営業拠点の新たな設置に加え、今後の営業拠点新設に向けた取組みを進めてまいりました。

在宅介護サービス事業につきましては、事業者や医療機関等との連携・協働を図り、小規模多機能型居宅介護や通所介護等、地域に応じた複合的な在宅介護サービスを提供してまいりました。当第2四半期末において、在宅介護サービス事業を行う連結子会社は全国8社であり、順調に稼動しております。

以上の結果、当第2四半期の業績につきましては、売上高が4,425百万円（前年同四半期比2.6%増）、営業利益が452百万円（前年同四半期比1.5%減）、経常利益が511百万円（前年同四半期比1.9%増）、四半期純利益が264百万円（前年同四半期比12.5%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期末における資産合計は、前期末に比べ6百万円増加し、12,027百万円となりました。主な要因は、流動資産のレンタル未収入金41百万円増加、現金及び預金197百万円減少、固定資産の有形固定資産140百万円増加、無形固定資産17百万円増加等によるものであります。

##### (負債)

当第2四半期末における負債合計は、前期末に比べ36百万円増加し、2,212百万円となりました。主な要因は、流動負債の買掛金19百万円増加、レンタル資産保守引当金29百万円増加、災害損失引当金41百万円減少、固定負債の退職給付引当金13百万円増加等によるものであります。

##### (純資産)

当第2四半期末における純資産合計は、前期末に比べ29百万円減少し、9,815百万円となりました。主な要因は、四半期純利益264百万円の計上による増加、配当金301百万円による減少等によるものであります。自己資本比率は、前期末の81.2%から0.3ポイント減少し80.9%となりました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前期末に比べ197百万円減少し、4,146百万円となりました。

当第2四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は151百万円（前年同四半期は得られた資金265百万円）となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益511百万円及び減価償却費889百万円等による収入、レンタル資産の取得による支出1,025百万円及び法人税等の支払額245百万円等による支出があったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は47百万円（前年同四半期は使用した資金141百万円）となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出21百万円、無形固定資産の取得による支出9百万円及び差入保証金の差入による支出7百万円等があったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は301百万円（前年同四半期は使用した資金389百万円）となりました。主な要因は、配当金の支払額301百万円等があったことによるものであります。

## （3）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年3月期通期の連結業績予想といたしましては、当第2四半期の業績は順調に推移しており、第3四半期以降についても事業環境の大きな変化を想定していないことから、売上高は8,700百万円、営業利益は990百万円、経常利益は1,060百万円、当期純利益は510百万円を見込んでおり、平成23年5月9日付「平成23年3月期決算短信」に記載の予想に変更はありません。

業績予想は、当社が現時点で入手可能な情報による判断、仮定等に基づいて作成しております。今後の国内外の経済情勢、事業運営における状況の変化、見通しに内在する様々な要素や潜在リスク等の要因により、結果的に実際の業績が見通しと大きく異なることがあります。

## 2. サマリー情報（その他）に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,344,736	1,147,194
売掛金	218,683	227,839
レンタル未収入金	864,441	905,931
有価証券	2,999,619	2,999,662
商品	13,558	12,413
貯蔵品	23,396	22,417
短期貸付金	2,000,000	2,000,000
その他	423,006	413,789
貸倒引当金	△37,200	△37,290
流動資産合計	7,850,243	7,691,958
固定資産		
有形固定資産		
レンタル資産(純額)	2,723,978	2,882,324
その他(純額)	748,512	730,507
有形固定資産合計	3,472,490	3,612,831
無形固定資産		
のれん	2,836	1,885
その他	134,867	152,883
無形固定資産合計	137,703	154,768
投資その他の資産		
投資その他の資産	564,355	567,996
貸倒引当金	△3,850	—
投資その他の資産合計	560,505	567,996
固定資産合計	4,170,699	4,335,597
繰延資産	500	341
資産合計	12,021,444	12,027,897

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	126,737	146,614
レンタル資産購入未払金	306,367	293,803
未払法人税等	258,820	252,572
賞与引当金	132,603	135,199
レンタル資産保守引当金	416,700	446,000
災害損失引当金	43,010	1,600
その他	250,163	297,167
流動負債合計	1,534,402	1,572,956
固定負債		
退職給付引当金	447,643	461,516
役員退職慰労引当金	11,035	5,001
その他	183,593	173,266
固定負債合計	642,272	639,783
負債合計	2,176,675	2,212,740
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,897,300	2,897,325
資本剰余金	1,641,300	1,641,325
利益剰余金	5,629,038	5,592,023
自己株式	△401,326	△401,326
株主資本合計	9,766,312	9,729,347
少数株主持分	78,457	85,808
純資産合計	9,844,769	9,815,156
負債純資産合計	12,021,444	12,027,897

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	4,312,502	4,425,887
売上原価	2,303,885	2,523,797
売上総利益	2,008,617	1,902,090
販売費及び一般管理費	1,549,096	1,449,640
営業利益	459,520	452,449
営業外収益		
受取利息	4,407	3,169
ソフトウェア使用料	16,053	16,335
レンタル資産修繕収入	9,333	16,629
補助金収入	9,932	10,846
雑収入	5,441	13,275
営業外収益合計	45,168	60,255
営業外費用		
為替差損	2,141	455
雑損失	184	296
営業外費用合計	2,326	751
経常利益	502,363	511,953
特別損失		
固定資産売却損	614	—
固定資産除却損	11,678	504
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	23,050	—
特別損失合計	35,343	504
税金等調整前四半期純利益	467,019	511,448
法人税等	229,342	239,660
少数株主損益調整前四半期純利益	237,677	271,788
少数株主利益	2,707	7,351
四半期純利益	234,969	264,436

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	237,677	271,788
四半期包括利益	237,677	271,788
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	234,969	264,436
少数株主に係る四半期包括利益	2,707	7,351

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	467,019	511,448
減価償却費	808,590	889,629
長期前払費用償却額	10,531	3,240
のれん償却額	950	950
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△750	△3,760
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△4,397	2,596
レンタル資産保守引当金の増減額 (△は減少)	16,200	29,300
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△41,410
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	14,040	13,872
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△37,267	△6,034
受取利息及び受取配当金	△5,614	△4,661
固定資産売却損益 (△は益)	614	—
固定資産除却損	11,678	504
レンタル資産除却損	6,711	8,594
売上債権の増減額 (△は増加)	△7,101	△55,763
たな卸資産の増減額 (△は増加)	4,838	1,489
前払費用の増減額 (△は増加)	6,223	2,721
未収入金の増減額 (△は増加)	6,871	3,302
レンタル資産の取得による支出	△844,017	△1,025,844
仕入債務の増減額 (△は減少)	△6,753	19,876
未払金の増減額 (△は減少)	20,304	27,742
その他	8,880	14,542
小計	477,551	392,337
利息及び配当金の受取額	5,617	4,624
法人税等の支払額	△217,584	△245,907
営業活動によるキャッシュ・フロー	265,583	151,054
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△128,425	△21,529
無形固定資産の取得による支出	△47,511	△9,845
長期前払費用の取得による支出	△8,593	△3,103
差入保証金の差入による支出	△4,735	△7,485
差入保証金の回収による収入	55,045	60
その他	△6,929	△5,377
投資活動によるキャッシュ・フロー	△141,149	△47,281
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
株式の発行による収入	—	40
配当金の支払額	△389,604	△301,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△389,604	△301,271
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△265,169	△197,499
現金及び現金同等物の期首残高	4,336,469	4,344,356
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,071,299	4,146,857

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記  
該当事項はありません。